

大型トラックフレーム修正工程

キュービックシステム



作業前

S字状にシャーシが変形。



Step 1 計測

フレームの損傷を測るゲージを設置。



レーザー計測器を使用して、フレームの曲がりやダイヤ変形を測定。

※最大部で左右335mm曲がり、ダイヤ変形前方で100mm、後方で95mm



フレームハイドゲージを使用して、フレームの上下の曲がり測定。

※最大部で上下4mm高さが違う

1日目

Step 1

4時間



Step 2 修正・整形

25tの修正機を、5ポイントに設置し多面引き。
修正後の強度をいかに保つかを計算しながら、慎重かつ確実に修正していきます。



押し引きを同時に行い、修正していく。
多彩なアタッチメントを複数使用し、多面引きすることにより、亀裂や切断を極力少なく修理します。



55tプレスで整形しますので、火は使用しません。

1日目

Step 2

4時間

2日目

Step 2

4時間



Step 3 最終チェック

修正完了後、もう一度レーザー計測器で最終チェックをします。



2日目

Step 3

4時間

修正完了



作業前



作業後

シャーシ修正完了。
フレームを切断・焼かずに修正するため、時間を大幅に短縮できます。